

地域リハビリテーション支援体制 整備推進事業について



令和7年3月
千葉県健康福祉部 健康づくり支援課
地域リハビリ班

地域リハビリテーション支援体制整備推進事業について

■ 目次

- 1 地域リハビリテーション広域支援センターの指定（選定）について
- 2 「ちば地域リハ・パートナー」について
- 3 地域リハビリテーション出前講座について
- 4 有事における地域リハビリテーション行動指針策定事業について

1 地域リハビリテーション広域支援センターの指定（選定）について

■ 指定期間

令和7年4月1日から令和10年3月31日まで（3年間）

■ 指定経緯

令和6年度	
4月	現広域支援センターに対する意向調査
7月24日	第1回地域リハビリテーション協議会 ⇒令和7年度以降の指定に係る方針、指定基準等の了承
7月29日	指定に係る規定等の改正・制定
8月6日 (11月8,29日)	現広域支援センターへ、「指定申請書」の提出依頼
11～12月	事務局審査(8医療機関)
12月17日	第2回地域リハビリテーション協議会(ヒアリング審査(8医療機関))
12月24日	申請者(8医療機関)へ、審査結果通知
2月	事務局審査(1医療機関)
3月11日	第3回地域リハビリテーション協議会(ヒアリング審査(1医療機関))

3

1 地域リハビリテーション広域支援センターの指定（選定）について

■ 審査結果

現在、指定を受けている以下8圏域※の医療機関について、指定に係る審査の結果、すべての医療機関で広域支援センターとして適当と判断された。

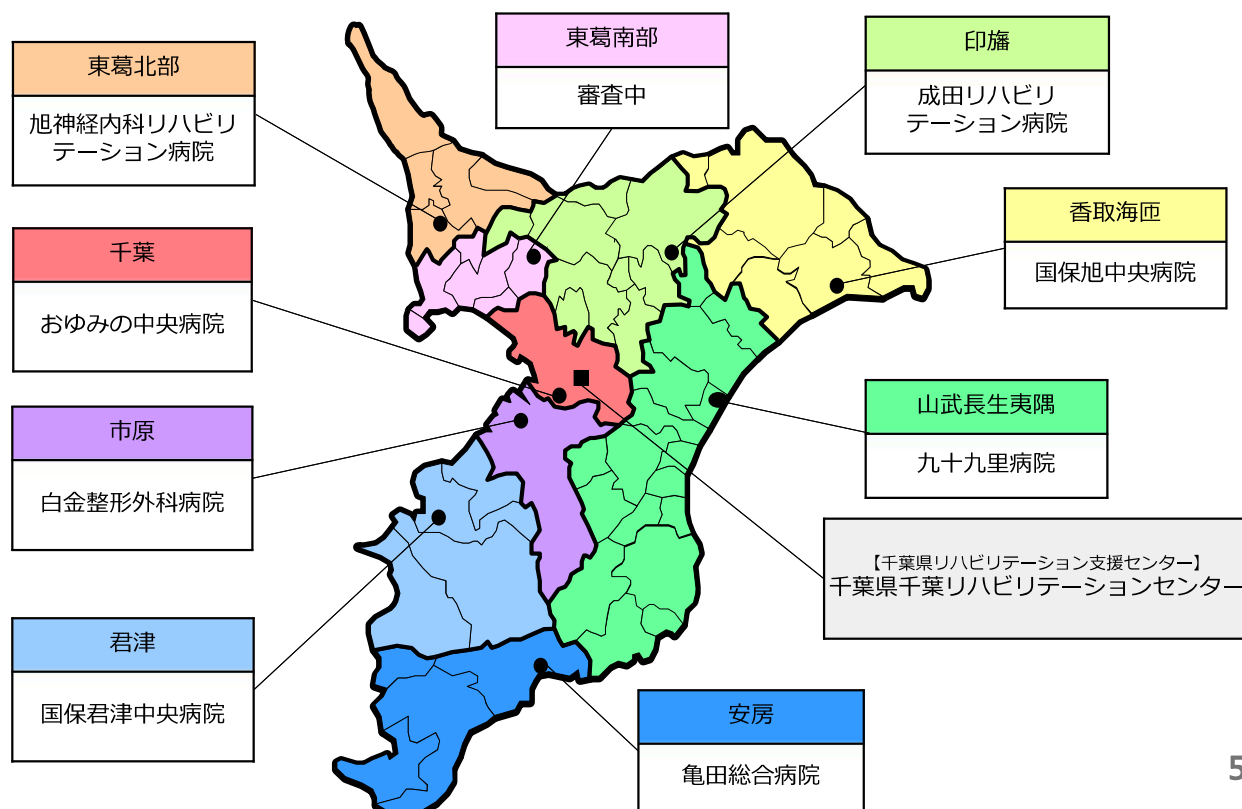
二次保健医療圏	指定医療機関名	所在地
千葉	おゆみの中央病院	千葉市
東葛北部	旭神経内科リハビリテーション病院	松戸市
印旛	成田リハビリテーション病院	成田市
香取海匝	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院	旭市
山武長生夷隅	九十九里病院	九十九里町
安房	亀田総合病院	鴨川市
君津	国保直営総合病院君津中央病院	木更津市
市原	白金整形外科病院	市原市

※ 東葛南部圏域は審査中

4

1 地域リハビリテーション広域支援センターの指定（選定）について

■ 令和7年度以降の指定状況（令和7年4月1日指定予定）



5

2 「ちば地域リハ・パートナー」について



■ 概要

広域支援センターの機能を補完するため、各圏域において事業等に協力できる施設・団体等を募り、平成29年度から「ちば地域リハ・パートナー」として指定している。

■ 指定状況（令和7年2月末現在）

計174機関（前年度末：計178機関）

（機関）

2次医療圏	病院・診療所	介護老人保健施設	訪問看護ステーション	特別養護老人ホーム	職能団体	その他※	計
千葉	14	3	14	1	0	6	38
東葛南部	16	6	4	1	1	1	29
東葛北部	12	4	3	1	3	2	25
印旛	15	2	3	0	0	1	21
香取海匝	7	1	2	1	0	3	14
山武長生夷隅	12	5	2	1	0	3	23
安房	2	1	0	0	0	0	3
君津	3	1	1	0	0	5	10
市原	4	4	0	0	1	2	11
計	85	27	29	5	5	23	174

6

※「その他」：NPO、社会福祉協議会、大学、通所介護事業所など

2 「ちば地域リハ・パートナー」について

■ パートナーの数と質の確保に向けた取組（研修会の開催）

- ◆ 地域リハビリテーション研修プログラムの構築とプログラムに基づいた研修会の開催

研修プログラムの構築の目的

- 千葉県の地域リハの理念を実現できるよう、地域リハに携わる人材育成を行い、地域づくりに取り組む仲間を増やす
- 地域リハに携わる際に理解しておくべき考えや心構えを理解する 等



パートナー施設担当者の
質の向上↑↑

○令和6年度

実施回数：1回（令和7年2月28日～3月1日）

○令和7年度

実施予定：3回

※ その他、地域リハビリテーションに関する基礎研修会(仮)の開催について検討中

9

3 地域リハビリテーション出前講座について

■ 今年度の実施状況

	時期	内容
令和6年	3月～5月	要領作成、募集案内
	5月～7月	関係課を通じた開催案内
	8月	教育庁発行の広報誌を活用した広報
令和7年	2月	来年度実施について事前周知

10

3 地域リハビリテーション出前講座について

■ 今年度の実施状況

圏域	市町村	実施校数	対象	内容
山武長生夷隅	いすみ市	1校	2年生	・ 職業紹介・講話 ・ 実技(リハビリ体験) ・ 福祉用具・自助具紹介
	計	1校		

実施校の感想

- ・ リハビリ体験や、福祉用具に実際に触れることで実践的な学びにつながった。
- ・ 利用者・介護者の視点だけでなく、専門職の視点から深く学ばせることができた。

11

3 地域リハビリテーション出前講座について

■ 次年度の取組

- 事前周知と併せて、例年よりも募集開始時期を早めることで学校側のスケジュールに合わせた実施を図る。
- 県支援センター・広域支援センターの意見を参考に、無理のない実施体制を構築する。

- ・ 今年度中に事前周知を行う(令和7年2月)
- ・ ミーティングや、メールでの意見照会等で関係者間の合意を図る
- ・ 例年より募集開始時期を早める(6月前後→4月中目安)
- ・ 必要に応じて周知・広報を行う

12

4 有事における地域リハビリテーション行動指針策定事業について

令和7年度予算額 190万円

取組の背景と目的	○ 猛威をふるう近年の自然災害や感染症のまん延 ○ 介護サービス事業所等における自施設のBCP策定の義務化 ○ 有事におけるリハビリテーションサービスの継続の重要性
取組の目指すところ	○ 地域単位のBCPに相当する行動指針の策定
取組の特徴	○ 地域リハビリテーション支援体制を基盤とした運用 (県支援センターの支援、広域支援センターとの連携、 ちば地域リハ・パートナーの参画)
取組のプロセス	○ 研修会の開催、課題把握のための調査実施、検討会の開催 ○ モデル圏域を設定と行動指針案の策定 ○ 行動指針案の下にした訓練の実施と見直し
取組の効果	○ 事業所間の「つながり」に厚みができる。 ○ 被害を最小限にとどめることで、地域住民の健康や暮らしの安定につなげられる。 ○ 地域全体で有事を乗り越える力が養える。(期待を込めて)

13

4 有事における地域リハビリテーション行動指針策定事業について

令和7年度の事業のスケジュール(予定)

- 「行動指針(共通編)」(案)の策定
- モデル圏域の選定・モデル圏域でのヒアリング調査・「行動指針(地域編)」(案)の策定
- 意見交換、行動指針(案)の修正等
- 地域リハビリテーションに関する基礎研修会(仮)の開催
※ 有事を視野に入れた平時からの連携体制づくりの構築

令和8年度以降の事業のスケジュール(予定)

令和8年度	シミュレーション訓練の実施と行動指針の策定(完成)
令和9年度	全圏域に横展開していきたい

14